

## ～ FASID 奨学金プログラム 研究報告会 ご案内 ～

国際開発機構(FASID)では、国際開発関連分野で博士の学位取得を目指す日本人材への支援として奨学金プログラム(給付型)を実施しています。今春、博士の学位を取得されたFASID 奨学生(8期生)永井 陽右氏を迎えて研究報告会を開催します。FASID 奨学金プログラムの説明も行います。

報告者 永井 陽右 NPO 法人 アクセプト・インターナショナル 代表理事  
FASID 奨学金プログラム 8期生 /  
早稲田大学社会科学部 博士号(社会科学)

### テーマ 第3世代DDRにおける「社会復帰支援」の検討 —アル・シャバーブ投降兵への取り組みを事例として—

武力紛争への対応策の一つの選択肢として武装解除、動員解除、社会復帰(Disarmament, Demobilization, Reintegration: DDR)が生み出され、現在に至るまで発展してきた。元来DDRは、紛争後の平和構築における重要な取り組みとされ、基本的に紛争を終結する和平合意をベースに実行されてきた。しかし近年では、和平合意が存在しない紛争地において、DDRの実施条件全てが欠如している環境で、暴力的過激主義組織の投降兵に対する社会復帰の支援という内容でのDDRが試行錯誤されてきている。本論文は、研究蓄積が薄く、且つ従来のDDRとは極めて大きく異なる「社会復帰支援」の取り組みに注目し、そうした新しいDDRを先導する取り組みと言われたソマリアの事例を分析、考察することで、実態と課題を明らかにするとともに、最前線のジレンマと「社会復帰支援」がDDRプロセスの中でどのように機能しうるのかを提示する。

日 時: 2022年7月1日(金) 12:00~13:00 (研究報告・質疑応答、奨学金プログラム説明あり)

会 場: 国際開発機構(FASID)セミナー・ルーム (東京都港区麻布台2-4-5 モノニック39MTビル6階)

開催方法: 来場対面形式(オンライン配信なし) 参加費: 無 料(要事前申込)

案内状: [https://www.fasid.or.jp/scholarship/4\\_index\\_detail.php](https://www.fasid.or.jp/scholarship/4_index_detail.php)

永井陽右(ながい・ようすけ) NPO 法人アクセプト・インターナショナル代表理事。テロと紛争の解決をミッションに、主にソマリアやイエメンなどの紛争地にて、所謂テロ組織の投降兵や逮捕者などの脱過激化と社会復帰支援を実施。また、テロ組織との交渉および投降の促進、国連機関や現地政府の政策立案やレビューなどにも従事。国連関係では暴力的過激主義対策メンター、専門家会議や専門作業部会のメンバー等。London School of Economics and Political Science 修士号(紛争研究)。早稲田大学社会科学部 博士号(社会科学)。国内外で受賞・選出多数。著書に『僕らはソマリアギャングと夢を語る:「テロリストではない未来」をつくる挑戦』(英治出版)、『共感という病』(かんき出版)等。

申込み: eメールにより、件名「7月1日奨学生報告会申込み」として、お名前・ふりがな、ご所属、電話(昼間連絡できる先)を下記の事務局へお送りください。

受 付: 申込みメールを受信後、確認eメールを事務局からお送りします。申込みの方は確認eメールで、ご参加の可否を確認してください。(定員20名程 先着順・早目にお申込みください。感染症予防のため、少人数での開催です。)

主催・申込み 一般財団法人 国際開発機構 FASID 奨学金プログラム事務局 担当: 服部  
〒106-0041 東京都港区麻布台2-4-5 モノニック39MTビル6階  
TEL: 03-6809-1996 / email: [gakui@fasid.or.jp](mailto:gakui@fasid.or.jp)